



瑞慶

シルバーとよなか

ふれあい

2000年1月

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.30

新春を迎えて



理事長
宮崎 英三郎

新年あけましておめでとございます。
皆様方には、平成12年の新春を

健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、当センターの事業運営にご理解・ご協力を賜り厚くお礼



豊中市長
一色 貞輝

明けましておめでとございます。

市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は市政の推進に格別のご理

を申し上げます。

さて、当センターは高齢者の豊かな経験や能力を生かし、臨時的、短期的な就業を通じて、自らの生きがいを高め、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的に、昭和56年6月に設立され、本年度19年目を迎えることになりました。

この間、国、府、市及び事業所市民の皆様から幅広いご支援をいただき、お陰様で地域社会に密着した事業の展開を図ることができました。

ご承知のとおり、豊中市の60才以上人口は、7万7千人を越え高齢化率は実に20%に達し、いよいよ超高齢化社会が現実のものとな

解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今のわが国経済はゆるやかな改善が見られるものの、まだまだ地域経済や市民生活に与える不安は深刻な状況にあります。

昨年豊中市は「環境基本計画」や「子ども総合計画」を策定することができ、「人権文化のまちづくりをすすめる条例」を施行しました。また老人デイサービスセンターなどを含む高川複合施設や女性センター、中部温水プールも今年オープン予定となっております。これも皆様方のご協力のお陰と心から感謝致します。

つてまいりました。

こうした状況からもうかがえますように、高齢者のライフプランが大きな社会的課題となるとともに、高齢者の社会参加や生きがいの充実を目指す、シルバー人材センターの役割が今後ますます重要性を増すものと実感いたしているところであります。

しかしながら、当センターを取り巻く社会経済環境は、長引く景気の低迷による発注量の伸び悩み、雇用調整や労働力の流動化等の影響による入会希望者の増加、さらに国及び地方公共団体の財政悪化や行政改革にともなう補助金の削減や見直し等はセンターの運営基

本市は昨年「財政非常事態」を宣言しました。今年四月には地方分権推進一括法が施行され、介護保険制度もスタートします。危機的な財政状況のなかで、地方分権の推進や、保健・福祉・環境問題等、多くの課題に対処するため、行財政改革と財政再建に取り組みなければなりません。そのためにも歳入・歳出両面にわたって経費の見直しを行い、弾力的で柔軟性のある市政運営に取り組み、行政自らも厳しく内部努力を重ね、簡素で効率的な行政をめざします。また、市民の皆様にもご協力をお願いし、社会の変化に対応した給

盤を急激にゆるがせており、事業実績も今年度は昨年度程度に止まるのではないかと思われます。

私も役員一同、こうした厳しい状況を認識し引き続きセンターの諸改革を推進するとともに設立20周年を契機とした新しい事業展開に向けた検討を進めているところであり、皆様方には今まで以上のご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして、よりよい年となりますようお祈り申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。

付事業の見直しなど、施策の再構築を行ってまいります。

二十一世紀への架け橋であります二〇〇〇年が、安全で安心して暮らせる「二十一世紀にはばたく豊中」のまちづくり推進の新たな契機の年となりますよう、全力を傾注してまいります。

今年も一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、新しい年がシルバー人材センター会員の皆様方にとりまして、も素晴らしい年となりますようお祈り致します。



豊中市議会議長

乗光 恭生

新年明けましておめでとございます。

市民の皆様方には、新しい時代の幕開けとなる西暦二〇〇〇年の新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政各般並びに市議

会活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、昨今のわが国の経済情勢は、長期にわたる景気低迷期からようやく回復基調に向かっていると云われておりますが、完全失業率は依然として高い水準にあり、新卒学生の就職内定率も低く、国民の生活に大きく影響を及ぼしております。

豊中市においても昨年、「財政非常事態宣言」を出すなど財政状況は極めて厳しいものがありますが、このような状況の時こそ現実を見据え、新しい年を夢と希望に満ちた未来へ邁進するための努力をし

なければならぬと考えております。

昨年は、国連が提唱する国際高齢者年であり、そのテーマとして「すべての世代のための社会をめざして」とあります。

本格的な高齢社会が到来する中で、高齢者の知恵と経験を若年世代に伝えることは、高齢者の生きがいにもなり、すべての世代のための活力ある社会を築き上げていく上で極めて重要となっていくものと考えております。

このような中、シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就業対策を通して、地域社会の日常に密接した社会参加と生きが

いづくりを図るべく、積極的な活動を展開していただいております。誠に心強く感じますとともに、皆様方のご尽力に対しまして、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。市議会といたしましても、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するように更なる努力を傾注してまいります。

最後になりましたが、社団法人豊中市シルバー人材センターの更なるご発展と、今年も皆様方にとりまして、よりよい年でありませうようお願いいたします。新年のご挨拶といたします。

あけましておめでとうございます

理事長 宮英二 副理事長 水利夫 常務理事 中山善博

理事 藤田政博 理事 織田照子 理事 林泰野 理事 藤田通 理事 上田善治 理事 吉川武郎 理事 宇都宮義典

監理事務 藤井健二 監理事務 藤本哲夫 監理事務 岡本美恵子 監理事務 飯野宗五 監理事務 藤澤敏雄 監理事務 小市克己 監理事務 古市垣義男

監理事務 小森秋男

監理事務 小森秋男

地域班役員

第一班 ※ 第二班 ※ 第三班 ※ 第四班 ※ 第五班 ※

西青牛永吉大内笹板宮馬菊徳里赤馬片加平小田

川田木吉森川部藤山倉本崎岡永穂山場藤中野

秀雄三富祐一功武倫正 俊美恵美昭恵千代英

美郎雄吉男治郎治廣工明治美恵美昭恵千代英

第六班 ※

第七班 ※ 第八班 ※ 第九班 ※ 第十班 ※ 第十一班 ※ 第十二班 ※

宇都宮義典 森山野田 紅野藤 佐木野 伊野木 濱野 伊野木 濱野 伊野木

野田 藤山 野田 藤山 野田 藤山 野田 藤山 野田 藤山

義典 正定 年玄 照年 登早 千 高一 弘 三 正 章 昌 岸 徳

子磨 義 侑 喜 次 雄 秋 愷 正 郎 茂 昭 瞳 雄 澄 一 義 之 男 雄

第十三班 ※

第十四班 ※ 第十五班 ※ 第十六班 ※ 第十七班 ※ 第十八班 ※

藤本 高本 藤山 岡山 藤山 岡山 藤山 岡山 藤山 岡山

元沢 田元 橋田 井路 崎路 岡崎 藤崎 岡崎 藤崎 岡崎 藤崎

正憲 健康 太政 宗通 幸明 幸明 幸明 幸明 幸明 幸明

信明 清信 二市 夫通 道通 道通 道通 道通 道通 道通

センターだより

平成十二年度事業計画及び 予算の編成方針

我が国経済は、あいにく景気対策で不況は底を打つたと言われているものの、なお企業の設備・労働力に余剰感が強く、雇用調整や消費の低迷等から回復軌道に乗りつつあるとは言い難い現状にある。

政府は引き続き積極的な景気対策予算の編成を行うとともに、ベンチャー育成等、起業による雇用創出を図り、回復への足掛かりを確かなものにしたとして、景気の足取りは重い。

むしろ、国債の増発や地方自治体の急速な財政悪化等は、経済の先行き不安定要因として、なお困難な時代は続くものと考えられる。

シルバー人材センターにおいても、国・府等による運営補助金が年々削減され、平成十一年度は二年前に比較して七〇％を切るまでに至っている。市も再建団体転落の瀬戸際の財政悪化から大幅な見直しを予想され、来年度はセンターにとつてきわめて厳しい状況を迎えようとしている。

この様な環境変化に対応するため、ここ一兩年あらゆる面での点検・見直しをする一方、会員、職員意識改革を求めつつ積極的に改革改善を進め、一定の成果をあげつつある反面、急激な変化や意識の切り替えに対応できない面も顕著化してきた。

こうした中、センターの運営は一層の厳しさが増すものと予想され、その意味からも引き続き改革改善を進めて行かなければならない。平成十一年度の予算編成にあたっては、こうした現状を踏まえ、次の諸方針にたつて作業

して行くものとする。

記

一、平成十年度から始めたセンターの改革改善の取り組みをさらに進め効果的に機動的なセンターを目指す。

一、予算作業にあたっては、前年度策定した中期予測を点検修正しながら計画的な事業推進を図る。

一、平成十二年の設立二十周年を控え、これを契機とした新たな事業展開に向けた計画構想の具体化を図っていく。

一、運営補助金の削減方向を踏まえセンターの財務体質を強化するため事業の拡充による事務費等の安定確保や、その他の多様な財源確保に努める。

一、総会の決定に基づき、新年度から会費改訂を行うとともに、新しく入会する会員に対し、登録手続きに係る諸経費の一部負担を求める登録費（仮称）を新設する。

一、管理的経費の一層の削減に努め、新規事業等に必要不可欠な機材器具等については積極的に投資する。

一、個別事業の収支を絶えず点検し、収支不安定事業の改善、累積した収支差額の解消に努める。

一、就業開拓専門員による就業開拓を継続して実施するため、補助制度の継続を要望するとともに、独自に予算措置を講じ仕事を開拓し就業率の向上に努める。

一、平成十年度から開始した各種積立に一層の努力をする。

一、試行的にスタートした賛助会員制度を積極的に推進する。

一、職員の意識、組織体質の改革を進め、組織機構、事務処理の再編を図り、効率的で顧客や会員に対する適

切なサービスが出来るシステムの構築を目指す。

一、就業にともなう貸与物品（機材、器具、被服等）について、センターが具備するもの、個人が用意するもの等の基準を明らかにし、管理責任を明確にして効率的で透明性のあるシステムに切り替えて行く。

一、技能講習、家事・介護等のシニアワークショップの体系的な実施、講習内容の充実等に努め、技能向上を図って仕事の成果につなげるため、SOP補助金等を積極的に導入する。

一、就業分野毎のチーム制を促進し、リーダーの育成を図って仕事に対する責任体制を明らかにするとともに責任に見合った配分金のあり方をシステム化する。

一、配分金単価は、新年度も据置き、価格面でも他事業所と競合する分野については、弾力的に対応して行くものとする。

一、事務費は据置きものの新しい事業分野、機材・器具等を必要とする事業分野については、屋内外の業務を問わず七〇％の取扱とする。

一、公共分野で事業の縮小、廃止等が予測される事業がみられる一方、国の緊急雇用対策事業に関連して新規受注が期待できる分野もあり、積極的に営業活動を行い受注できるように努力する。

一、安全就業を推進するため、職種毎に安全委員を設けて労働安全マニュアルづくり等を行う。

一、福利厚生事業は、引き続きそのあり方を検討し事業参加者等に対し受益者負担の立場から適正な負担を求めていく。

二〇世紀最後の年、二〇〇〇年を迎えました。この一年、元気で、二〇世紀と二〇世紀の両世紀を生きる素晴らしさを味わいたいものです。センターにとつては、今年も厳しい年になりそうですが、二〇〇〇年度の事業計画や予算の編成作業を進めるにあたっての方針が去る十一月二十一日の理事会で決まりました。平成一〇年度から進めてきたセンターの改革の取り組みも三年目になります。これまでの取り組みを点検しながら新しいセンター像を目指して理事会は頑張ります。

改革の取組経過

その他			財政面		事業面			項目
その他	事務局	理事会等	積立金	運営資金	就業開拓	就業関係	職群	
☆(賛助会員規程) 賛助会員制度 ☆情報開示要綱の制定	☆事務システムの見直し	☆専門部会活動 (総務・広報、就業開拓、福利厚生) ☆各委員会活動 (安全就業、記念事業検討、会報編集)	☆運営資金等の確保 ☆運営面の抜本的な見直し	☆各職種別収支等検討 ☆材料費等検討 ☆役員関係及び会員福利厚生関係予算見直し ◎物件費等の見直し ◎支払日について検討(毎月15日)	☆理事等による事業所等訪問 一六事業所 ☆就業開拓専門員による営業活動 三三六事業所 ☆パンフ等作成配布四種 九、一七〇戸	☆未就業会員に対する調査 ☆就業アンケートシヨン調査 ☆技能講習会の体系的な実施	☆園芸班、除草班 ☆職群懇談会の随時開催	◎入会のあり方について検討 ☆会員実態調査(会員の意識と就業関係) ☆情報提供の充実
☆賛助会員7団体(12月現在)	☆新事務システム (受注に対する即応性、就業開拓・職種営業会員スキルの登録、コスト意識の徹底)	☆会員による総会の運営化	☆積立金規程等の制定により資金確保明確化 (3積立金)	☆7% (屋外作業等) ☆ごみ処分料、損料の適正な地主負担 ☆11年度予算管理費の抑制 ☆支払日変更(毎月20日) ☆福利厚生事業(パフッア一等)参加者の適正負担	☆継続的な就業開拓 (就業開拓専門員の配置(3名)による普及活動及び独自の専門員(2名)等のきめ細かな営業活動) ☆パンフ新規作成六種	☆就業機会の提供方針 ☆技能講習・研修の方針 ☆安全就業方針	☆家事サービシ他3班(予定) ※和裁相談日(毎週水曜日)	☆入会登録会(説明会と登録会及び面接の分離)(毎週木曜日) ☆希望職種調査(就業紹介等の即応性の確保) ☆専門技能登録パンフ(各資格や専門技術の登録)◎会費(六〇〇円)等について検討 ◎地域班活動の再構築にかかると研究会 ☆広報等PR媒体を活用し普及啓発に努める
☆賛助会員制度の本格的実施	☆事務局体制等の変更改善	☆記念事業検討委員会の拡充	☆新規事業分野等は7%取扱 ☆平成12年度予算管理経費の見直し ☆就業者貸与物品等管理の見直し	☆就業開拓専門員制度の継続実施	☆平成12年度就業機会、技能講習等の方針 ☆同一業務就業期限設定(2年)と就業のシヨン化 ☆安全就業方針	☆園芸、除草、家事、筆耕、営繕、清掃、公共	☆新入会員登録料の新設 ☆地域班新活動 ☆各種資格登録パンフ	☆会員の就業条件に基づくグループ化 ☆人材派遣就業形態を研究・試行 ☆会費等の変更 ☆新入会員登録料の新設

◎検討等 ☆実施(新規)



二〇〇〇年を迎えて



第九班
野口 高茂

二〇〇〇年の元旦を夫婦揃って元気に迎えました。

去年、金婚のお祝いとして、息子夫婦が家内の誕生日十二月二十五日に琵琶湖ホテルの一泊をプレゼントしてくれた。ホテルの窓から四人揃って湖の日の出を眺めたのが、昭和六十二年であったから今年十二年目を迎える。

ふりかえれば、よくも生きてこられたものだと、つくづく思う。それ故に、この際西暦二〇〇〇年をしつかり見つけて生きてゆかねば勿体ないと思うことにした。

青春時代に、国を挙げての皇紀二千六百年の大祭典に参加した。われわれにとつて、西暦年号は馴

染みのうすい年号であるが、パスポートを使う度に、誕生日の一九二二年が目にとまる。考えてみれば、今世紀の八〇%を生きてきたことになる。

戦中、戦後と人の生死・貧困と向きあつた時代を顧みると、感慨無量なるものがある。

そんな人生で、一つ書くとするれば、矢つ張り戦争の現実だろう。アメリカと戦つたことを知らない世代が沢山居ると聞くと愕然とす。

久留米予備士官学校で死の訓練で鍛えられていた灼熱の夏の日、本当に生徒が死んだ。陸軍中将閣下の校長以下全校あげて告別式が盛大に行われた。名譽の戦死である。……午後には、また猛演習が始つた。

晴れて見習士官となつて原隊に帰つた。半月も経たない内に、序列の下から順番に南支、中支、南方へと出征して行つた。そして一ヶ月も経たない内に、戦死の報が次々と入つてきた。名譽の戦死!!

母の懸命の努力のせいも、運が良かったのか、ビルマへの師団動員の一週間前の独立守備大隊の編成に入った。シンガポールで半年後、いま問題になつているスマトラ、アチ工の北方の島で混成旅団が編成された。間もなく関東の一個大隊がマレー半島へ転進することになり、複雑な想いで、夕陽の映ゆる港にて見送つた。ところが翌朝、ペナン沖で魚雷攻撃を受け

全滅した。

印度洋上、英軍の作戦地区だったので玉碎は免れた。

副官として仕えていた旅団長が栄転でアンダマン諸島軍司令官として、海軍の水偵察機で単身赴任された。乗れなくて島に残つたアンダマンで俘虜を島に流し食糧を与えなかつた所謂人肉事件の罪に問われ、シンガポールにて絞首刑になられた。

戦争体験のほんの一例である。われわれのクラスの中の三分の一は戦病死した。年をとり物故者がひとりひとり増える都度、若くして戦病死した学友の顔が思い出される。戦争に負け、帰国した時、当時のお母さんや国民は、もう絶対この手に武器は持つまいと誓つた。若人のために……。そのお母さんたちも今は居ない。

『二十世紀』最後の年を迎えての感慨



第四班
富山 雙榮

センターの紹介で市内S病院の并当宅配を始めて三年半となる。大過なく続け、体を使うことで健康維持できる現在に満足、感謝し

ている。二人の同僚も同じ思いのようである。元気でおられる。二十世紀の百年は科学技術の発達で衣食住は豊かに、医療、交通、通信などいわゆる社会基盤も整備され、生活は便利になつた。産業、社会、経済の発展のお蔭である。しかし一時期日本人は、戦争で困窮した。一九四五年の敗戦。七年後にやつと占領から解放され独立国に、各国との交易で貧困から脱却した。

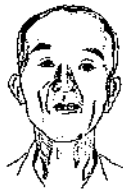
あの苦しい時代へは、二度と戻る気になれない。躍進の反面、二十世紀は戦争、破壊の時代でもあつた。世紀末のいま、既存の構造、制度の崩壊、環境破壊は日本人の心の荒廃と相俟つて次の世紀への不安要因となつて居るのは悲しい。

食事の宅配は月に十日間就業している。在宅の高齢者に接すると教えられることが多い。先ず自分も何れこうなる、と自覚したこと。在宅は入院療養より不都合だが気ままである。私はこれを望みたい。

反省点は、気ままはよいが、テレビ、エアコンなど電気の入れつ放し、食事制限の人までもが、菓子など食べ散らかしての無駄。あの戦中戦後に節約我慢をした高齢者がだ。子供より悪い。資源の浪費は、ボケても真似たくない。低資源国が大量輸入。消費は美德と使い捨てを奨めた結果が環境破壊や生体汚染(ダイオキシン、PCB等遺伝子に影響)となり、医療、対策に今後も費用がかかる。

老人医療一人当たりの全国平均（一九九六年度）は七十八万円、寒冷の北海道は冬の別荘（病院等）住まいが長いのか百万円を越すトップ。少子高齢化は今後も進む。豊中市の場合、七十歳以上の人口（十月一日現在）が一九九一年五・九％、一九九九年は八・七％と八年間で、一・四七倍に増加。百歳以上では三倍。長寿は喜ばしいが費用の増加は家族も社会も負担はしんどい。一九九九年度予算によれば民生費二四・〇％で老人に関わるものが多いそうだ。今後も体をしつかり使って健康維持に務めたい。そしてささやかでも年寄り、子どもに役立つ時間を持ち、「ペンペン・コロコロ」と最後まで元気でありたいものだ。

二〇〇〇年を迎えて



第十三班
原田 天豊

私達大正生れの者には、二〇〇〇年と言われてもピンと来ない。紀元で生まれ育って教育を受けて来たものネー。二〇〇〇年を迎えて笑いが止まらないような楽しい事やハッがお茶を沸かすような嬉

しい事がたくさんあるように祈る。一九九九年から二〇〇〇年に変わる時、コンピュータが誤作動するのではないかと騒がれておりますが、そのことは専門家に任せて、のんびりと楽しいお正月を迎えることに致しましょう。

大正生れの私達は殆んどの方が、希望する、しないに拘らず戦争のト真ん中でドンパチを体験し、ヤツトのことで生き残り、戦後の何も無い無いずくしの苦しい荒波も乗り越え今日まで生き長らえて来ました。

最近は何が多すぎる。あり余って、まだ使用出来る物がドンどん粗大ゴミとなって捨てられている。私の子供の頃は、遊ぶおもちゃと言えば全部手作りでした。外で遊ぶことが多いので、日焼けで健康そのもので、少し位の怪我にはめっぽう強かった。麦飯と味噌汁とタコワンが主食で肉や魚類は付録のようなものでしたが体は頑丈そのもの、戦後五〇年長いようで短かった。よくまあここまで生きてこれたものだ感謝しております。何が起るか分からない二〇〇〇年、世間は何かと騒いでいるのに釣られて、気持ち若返ったように感じます。曲がった腰を伸ばして頑張らなくちゃと思う。ウサギが居たはずの月に人間が降り立って石ころばかりと分った時の複雑な気持、無重力の宇宙遊泳の姿、遺伝子組替えの生物、科

学はどこまで進むのか踏みとどまることを知らない。

テレビゲームで遊んでいる孫たちを見ると難しい操作を簡単に動かして遊んでいる。遊びのおもちゃにも大金がかかる。昨今、親たちも大変だなあーと案じられる。

野菜作りも軌道に乗ったので、春から菊づくりを始めたが、背丈ばかり伸びてサツパリ……。二〇〇〇年には山荘全部を色とりどりの菊で包みたいと念願しております。

二〇〇〇年に想う



第十二班
岡本宗五男

いよいよ、西暦二〇〇〇年を迎えた。ノストラダムスの予言では、一九九九年の七月、神の審判が下り、地球滅亡の時が来るということであったが、外れた。西暦では二〇〇〇年のことを、三レニアム・千年紀ともいう。

さすれば、二〇〇〇年は、第一三レニアムの最後の年に当たり、イスラエルではキリストが再臨し、「愛と正義」が行われると信じられている。今年は一〇世紀最後の年であり、まさに、世紀末である。

過去一〇〇年の間、我々人類は大宇宙で唯一の生命体と目されているこの地球にどんな仕打ちをしてきたのか。

人類の繁栄のためという大義名分のもとに推進されて来た産業革命と工業の近代化路線は地上のあらゆる資源を掘り起こし、果ては地殻をも揺るがす核実験を繰り返して、大量破壊と殺戮の歴史を刻んできた。

この発展と開発の陰で自然破壊地球滅亡へのシナリオが演じられて来た。

近年、宇宙開発、クローン人間技術や遺伝子組替技術を手に入れた人類はあたかも自然を征服し、宇宙をも支配できると思つまでの傲慢さを持つに至つた。

この人類を嘲るかのように、近年、様々な超近代的科学実験の失敗が報じられている。また、頻々として、大地震や大洪水、早魃、エルニーニョなどの異常気象や天変地変が世界各地で発生している。

国際社会では、執拗な宗教紛争増え続ける難民と飢餓、絶えたはずの伝染病の再発、エイズをはじめ難病の発生、大気汚染、水質汚染、土壌汚染、文明が作り出した公害病が蔓延し、地球を汚して来た「付け」を払わされているのが現実である。

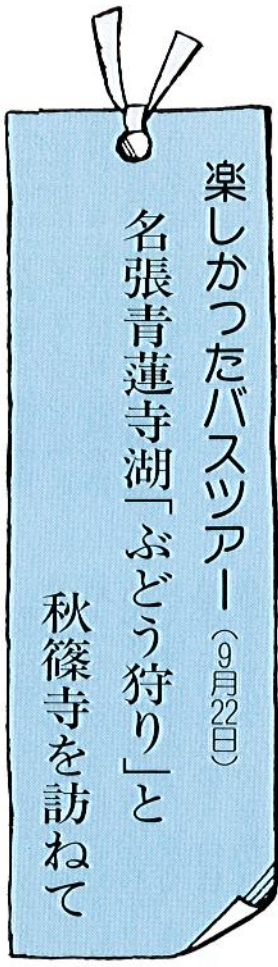
「愛と正義」とは程遠い、利己主義に徹した「拜金主義」が跋扈し、人心の荒廃は極致に達し、日

本のみならず世界の至るところで、凶悪犯罪の増加と低年齢化、陰湿ないじめ、家庭内暴力が横行している。

「二〇世紀の大半を生きて来た私たちはこのような「負の遺産」を次世代に遺していくのはしのびがたい。この掛け替えのない地球を危機に陥れるような事ばかりして来たのは外ならぬ私達なのだから子供が悪い、教育が悪いと言っ

前に手本となる大人たちがなにをして来たか。何をしているか。大いに、反省あつてしかるべきである。

自分達が被害者であつたかのような錯覚に陥ることなく、この世紀の大半を主導的な立場にあつたかあるいはありえた世代であることを自覚し、これまで培ってきた知識や技能・経験を生かして、次世代のため地球を蘇らせる足掛か



ブドウは今から六千年前、紀元前四千年頃には栽培されていたともいわれ、地球上でもっとも多く生産されている果実です。

全世界では一千万ヘクタールもの植付面積があり、その七割以上がワイン用品種で占められ、日本では三万ヘクタールの九割が生食用だそうです。

ワインは健康に効果があるとかで、最近にわかブームとなりました。赤ワインは黒い色のブドウを皮も種子も取除かないでつぶし

発酵させたもので、白ワインは白ブドウ又は、果皮を取除いた黒いブドウからも作られます。ブドウの歴史や知識はこの位にしていよいよブドウ狩りに出発です。

参加者七十六名が二台のバスに分乗、センター職員方の見送りを車窓に残して一路名阪高速を上野インターへ向いました。

ブドウ狩りといえば秋を連想します。この頃は暦では初秋ということですが、このところの異状気

りをのこしていききたいものである。最近の出来事をTVなどで見聞きすると、「全く世も末か」と思うが、今こそ真剣に改革にとりくまねばならないという機運に満ち満ちてきたのではないだろうか。自ら襟を正し、範をたれなければなりません。

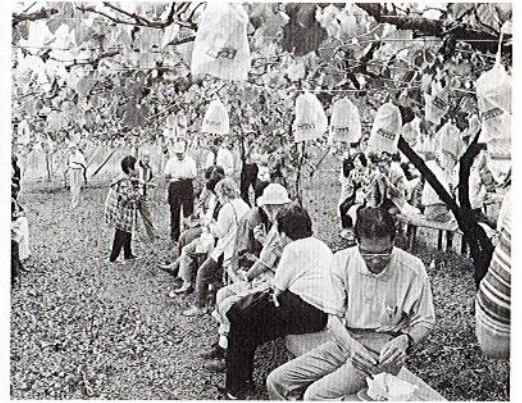
様子が違うなと思うのは私だけだろうか。みんなが知らない内にとてつもない「隠し事」が行われていて気がつくところある処で嘘がはびこり、正直者が損をし、「悪いやつほどよく眠る」世の中になつて来たことに気がついたからだろうか。二〇〇〇年は二一世紀への懸け橋となる年である。シルバークロウの真価を発揮したいものである。



象でまだ夏です。外を見れば空はどんよりと曇り、秋晴れとは裏腹



の今にも泣き出しそうな空模様です。さて車内はとみれば、外とは



正反対のまさにバスツアーの雰囲気そのもので、笑いあり雑談ありの賑やかさです。

車はやがて上野インターを過ぎ青蓮寺湖巨峰園案内のノボリが林立するぶどう園に到着します。

ぶどうの一房一房には紙の袋が被せられ、袋の一部が透明で中の房の状態が良く見える様になっている。係の人の説明では粒の色が濃いもの程甘味が強く、いわゆる完熟しているのだそうです。

早速銚子をもって一斉に園内に入ります。中味をよく見定めて甘味の強よそな房をチョッキン。

店で買うぶどうとは一味違つて兎に角美味しい。じつくり味わう間もなく一房をペロリ。二房目あたりからジツクリ香りや味を賞味出来ました。まさに産地直食です。ぶどうは房の先端が美味しいと云われているのを想い出すのも二房



目からでした。当園の巨峰は房全体が美味しく、美味しい空気と共に大いに満足しました。

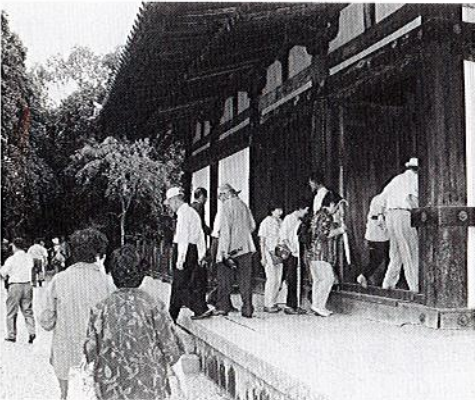
巨峰園をあとにして食事は上野市屈指のフレックスホテルでの豪華昼食です。広い宴会場はハイセンスな雰囲気であたたかなムードが広がっています。

今回コースの最終は秋篠寺です。寺は奈良時代末期(七七六年)に薬師如来を本尊とし、平安遷都とほぼ同時期に完成。真言密教道場として隆盛を極めた。

その後、保延元年(一一三五)兵火に罹り全山焼失、その大部分を失った。

宗派は当初法相宗より平安時代以後真言宗、明治初年浄土宗に属し、現在はいづれの宗派にも偏しない単立宗教法人である。

堂内には愛染明王、帝釈天、薬師如来、日光・月火菩薩など多く



の仏像が安置されている。

今回のバスツアーは一日ではあったがコースも楽しく曇り空ながら幸わい雨にもあわず予定時間前には、全員無事豊中に帰着しました。バスに同乗され、いろいろお世話下されたセンター職員の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

賛助会コーナー

新規賛助会入会者

日出町一丁目

株式会社 イーパック

(代表・中谷晃毅)様

庄内東町一丁目

三和ビル 株式会社

(代表・三河寛治)様

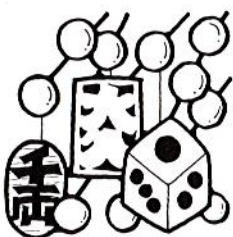
大阪市北区中津一丁目

やまかつ 株式会社

(代表・山本耕司)様

【お詫び】

前号で紹介させていただきました賛助会申込者のうち「仏光山 如来寺」様の一部に誤掲載がありました。ここに訂正し、お詫びいたします。



同好会だより

ハイキング同好会

チヨットだけ好きに

第五班 小原仲次郎

平成四年四月にハイキング同好会が発足。七月二十五日の第一回ハイキングは仁川から甲山方面でした。気温三十五度を越す暑い日でした。私は前々から六甲は余り好きでなかったが、回を重ねる内に少しづつ六甲も好きになつてきた。

平成十一年十一月十三日、朝から雲ひとつない快晴のハイキング日和になった。阪急六甲駅から登山バスで出発、車窓から眺める景色は素晴らしく、右を向けば神戸港から大阪湾が一望でき、左を向けばバスが進むにつれ変わりゆく六甲の谷々は、まだ紅葉は早いですが、濃い緑の木の葉の間に真赤な葉がちらほら見られる。漆科のハゼノ木とヤマウルシである。そうした景色に見とれていると、バスは六甲記念碑台公園に着く。下車して十国展望台に行く。素晴らしい展望は筆や口では表わせません。昼食後、石切道を通って下山し始めたが、道は雨のため荒れていて、上を向いて歩こうよどころか、下を向いて歩こうよ、であった。



中には、へたばる人もいたが、皆無事に下山することが出来た。

毎回こうしてハイキングに出かけて思うことは、私達都会に住んでいてよく自然が無くなったと聞きますが、交通機関を使えば、一時間そこそこでこうした自然の中でハイキングを楽しむことが出来るのです。私は毎回感謝し楽しんでおります。六甲もまたチヨットだけ好きになりました。



T・シルバー・トラベル同好会

出雲大社と玉造温泉の旅

第一班 山田 英明

旅行とは、徒歩または交通機関を利用して他所に行くことと、辞書には書いてある。幼い頃他所行きの服を着せてもらって乗った電車の嬉しさは、古稀を過ぎた今もなつても、心が浮き浮きするものである。

去る九月、わがT・シルバー・トラベル会は三十名の団体で出雲大社と玉造温泉に旅をした。因幡の白兔で知られる大國主命を祀る出雲大社は縁結びの神で知られる。会員さんは、一度は大社に参拝されたことがあつたと思う。相憎くの小雨の中の参拝になつたが、また別の風情があつた。玉造温泉の「白石家」に靴をぬいだのは、雨あがりの夕方五時頃であつた。バスの中で渡された部屋割のカードに記された番号の部屋に消えたと思つたら、あつちこつちから驚歎の声、それもその筈、六人用の十二畳の間に女性は三人、男性は四人で、各部屋は床の間付、次の間にはテーブルと椅子があつて寛げて申し分がない。会員さんが入浴中に役員は、お膳の位置、席順と右往左往と多忙を極める。やがて時間がきて、入室された会員さんは、並べられた料理の豪華さに感



美術サークル同好会

美術サークル発足

について

第一班 山階 康雄

シルバー二十五周年の総会の折、アクア文化ホールに絵画を展示致しましたのが起因で、シルバーで絵画教室を設けたらとお誘いがあり、七月末に発足し、現在十一

嘆の声。全員が揃つたところで、三つの舟盛りが並べられ記念撮影する。乾杯後、山陰の名物である安来節、銭太鼓のショーを見ながら一時間の宴会。会長の星影のワルツに全員が大きな輪になって大合唱のうちに宴会は終わった。帰路梨園に立寄り楽しかった一泊二日の旅行は終わった。無事豊中に帰つて「やつと終つた」とほつとした。

名の会員名簿が出来ました。月一回(木)午後一時より四時まで。実質参加の出来る方五六名程で会議室をお借りして頑張つてます。美に對する感覚を白い紙に自分なりに個性豊かな絵を完成していくと云ういい知れない楽しさがあります。目標は絵を額に入れ皆さんに見て頂いて、少しでも感動してもらえればこんなすばらしいことはないとそれぞれに思つております。

囲碁同好会

第十三班 國本 一種

その昔、中國に「王質」という名の樵がいた。ある日、山中に入つてみると童子が碁を打っている。王質は時の経つのも忘れて觀戦した。気がつくとき斧の柄が腐り里に帰つたら旧知の人はだれも生きていなかった。そんなにも時間が経つてしまった、という話である。

この故事から碁にふけて時のたつのを忘れることを「爛柯」と呼ぶ。柯は柄で爛は腐るという意味で、碁そのものをも爛柯と呼ぶ。転じて、好きな物等に心を奪われ、時のたつのを忘れることを指すようになった。時間の過ぎ方も、日が暮れてしまふ、などという程度のことではない。いかにも中國らしい壮大なものだ。

あなたの爛柯はなんだろう。あたる対象に集中し夢中になり、情熱を燃やす体験も大切です。

書道同好会

第四班 日高 水明

書道は老化防止の特効薬です。白い紙に黒い墨で戯れてみるという軽い気持ちの遊び心でのご入会如何ですが。お待ちしています。

都府県
市郡区

第一班 西村 栄子

白雲天
紅葉地

第三班 藤原 久子

天地玄黄宇宙
洪荒日月盈昃
辰宿列張寒來
暑往秋收冬藏

第十四班 岡野 静枝

一
点清風

第十四 藤崎 郁子

文芸サークル同好会

第九班 野口 高茂

三年越しの懸案でしたが、ようやく同好会の仲間に入れて頂くことになりました。よろしくお願ひ致します。

- ◎九月二十五日(土)アイボリーホテルにて創立総会を開き、十五名にて発足しました。
- ◎十月例会を十月二十日(土)桜塚会館にて開催し、会の名称、会則を定め、俳句の会を実施。
- ◎十一月を特別例会とし、十一日(土)十二時よりアイボリーホテル和室にてお食事をしながら、忘年と俳句の会をしました。
- ◎会誌「ふるあひ」創刊号を二月末までに発行します。
- ・テーマ「二〇〇〇年を迎えて」と自由題(俳句、隨筆など)
- ◎会員募集(文芸以外色々)なことを話し合いおしゃべりもします。
- ◎会費 月五〇〇円

テニス愛好会

第十三班 藤田 泰通

平成十年四月発足以来、ゲーム遂行に必要な最少会員数なれど、豊島公園テニスコートにて、月二〜三回の練習を続け現在に至る。プレー後の渴を癒す琥珀色の泡立つ液体の味もテニスの楽しみの一つ。ご入会歓迎。

会費 五〇〇円/月
世話係 藤田泰通 六四五―一七八四

編集のしおり

気象台の記録を更新し続けた異常気候、生活のリズムが狂うのではないかと心配されましたが、会員の皆様にはお健やかにお正月をお迎えのことお慶び申しあげます。いよいよ西暦二〇〇〇年、今世紀最後の年となりました。

世界中の人々を巻き込んだ幾多の大戦争、大量殺りく、多くの人命を失なわせた天変地異、一国の政治をひっくり返した政変、想像を絶する犯罪や飢饉などなど、いまだに解決出来ない事柄も多く、波瀾万丈の二〇〇〇年でした。

さて懸念されたY2Kのコンピュータ誤作動もなく、泰山鳴動してネズミ一匹の感で、一応ホットした今年は、どんなものでしょう。新しく実施される介護保険、高齢者医療の改革、公的年金の見直し、消費税率の上積等々、一気に昇り龍とは行かないようです。

しかし況んではかりではどうしようもありません。老人力でのこの一年有意義に過ごそうではありませんか。

期待の二十一世紀も、センター設立二十周年の式典も目前です。

「終り良ければ、全てよし」世紀末の一年頑張つてゆきましよう。

尚表紙写真は、藤田泰通さん、題字は、堤 喜久男さん、イラストは山階康雄さんです。

なお「ふれあい」は、どこにも負けない立派な機関紙を刊行してまいりましたが、行政機関全般の緊縮財政により、カラー表紙は今号をもって打ち切り、紙質も変更することになりました。了承下さい。

(編集委員 金子)

想いのたけをふみに託して…

俳句

第四班 村井實代子

二千年コンピュータ誤差
世界さわぐ

二千年よい年なれと

祈りける

第十班 朝倉 幸子

文机に黄菊のひらり二三片

石榴裂けルピーの果肉

掌に光る

バラ窓に誰をよぶのか

紋白蝶

第十五班 坂 重夫

二千年 おみくじにみる

さだめかな

奥千本 いにしえ語る

冬きびし

第二班 平ノ上砂子

二千年 元旦の空 辰の年

六十の 春秋二人の 年酒かな

第二班 須藤 操

二千年 嬰一系に迎えたり

笑い初め産湯の嬰のおちよほ口

早梅や心に適ふ 紅一重

盆梅や瑞枝にひらく数をよむ

「前二九号訂正」

奥飛驒は哀史抱きて斑雪



（隣のスーパーマーケット「豊中店」でお仕事の会員さん「こんばんは!!」）

第四班 徳永美恵子

ふれあい新年号は、昨春秋、旭ヶ丘に開店した「いかりスーパー豊中店」の駐車場管理の会員さんをお尋ねした。広く清潔な売場には目にも眩しいシヨクケースが並び、先づは高級生鮮食品が目を引き、輸入果実や、筆の中一杯の手作りパンが美味しそう。デコレーションが綺麗な和洋菓子。色々見とれていると、突然後から会員さんが帽子を取りながら挨拶。私は早速取材をお願いする。会員さんは五名で就業。コートシヨンは、朝九時半から午後一時半、



私は“ふれあい”帽子

ひとカートもベビーカーもそのままでエレベーターに乗り車に戻る。会員さんの仕事ではないけれど、車の傍のカートは、まとめてエレベーターで降ろして売場の邪魔、売場の空いたカートもお客様の邪魔にならないよう、手早く片付ける。「何事もサービース第一と心懸けている」担当の方からも喜ばれていると嬉しいお顔をされた。高令者のお客様にはお手伝いの声を掛けると、「済みませんね」と感謝のお言葉。幼児を連れたベビーカーのママはお買物も大変。レジの傍でベビーカーを見てあげると、「有難う済みせん」とお礼の言葉。取材に熱が入り、気がつくとも一時半。帰りのご挨拶をする時「私達はシルバーから仕事に来ている責任と何事も馴れる油断に気をつけてます。シルバーのPRも大切な仕事ですから」と熱のある真剣なお話、今回の取材で思った事は簡単ながらも実行がむづかしい高令者のお仕事。プライドを忘れてはいけないと私は深く考えさせられた大事な事を勉強した。

一時半から六時迄の二交替。出勤して仕事初めは十時の開店迄に周囲の清掃を終える。自販車置場は、正面入り口右側が第一、左側が第二と区分されている。平日の整理台数は、七、八〇台で、土曜、日曜になると学生や子供達も多い。近くには旭ヶ丘団地等住宅も多い。車の場合は建物に沿って道路からの昇りスロープに着いた所が駐車場で、お客様とベビーカーは、車から降りるとエレベーターで一階売場に、買物が済

